

## 【様式】

### 平成28年度 放課後子ども教室南会津地区研修会 実施報告書

(南会津)教育事務所

1 実施期日	平成28年8月26日(金)	時間帯：9時50分～14時00分
2 会場	下郷町ふれあいセンター	
3 出席者数	総出席者数 計 40名 (男性12名 女性 28名)	
(内訳)	○ 菊池信太郎 氏 (講演会講師) 1名 助手 1名 ○ 和合 治幸 氏 (実技講習講師) 1名 ○ 放課後子ども教室コーディネーター及び指導員 22名 ○ 児童クラブ指導員 3名 ○ 南会津町教育委員会 2名 ○ 下郷町教育委員会 2名 ○ 只見町教育委員会 3名 ○ 福島県教育庁 1名 (笠原さん) ○ 南会津教育事務所 4名	
4 研修会概要	<p>1 開会式 (9:50～10:00)</p> <p>(1) 開会 (2) 主催者あいさつ 福島県教育庁南会津教育事務所長 渡辺 惣吾 (3) 日程説明・諸連絡</p> <p>2 講演 (10:00～11:45)</p> <p>(1) 講師紹介 南会津教育事務所次長兼総務社会教育課長 佐々木 孝一 (2) 講演 演 題 「福島の子どもの現状と遊びを通して子どもたちを育む」 講 師 NPO法人 ペップ子育てネットワーク 理事長 菊池 信太郎 氏 (3) 講演内容</p> <p>I 福島の子どもの現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもに悪い影響をもたらしている社会動向</li><li>○ 子どもの健康とは</li><li>○ 日本の子どもたちの危機</li><li>○ 福島県の健康課題</li></ul> <p>II 子ども時代の生活習慣の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもの生活習慣</li><li>○ 子どもの肥満は成人へ移行する</li><li>○ 小児における肥満の重要性</li></ul> <p>III 肥満対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 朝食と成績</li><li>○ 規則正しい生活習慣の樹立</li></ul> <p>IV 遊びの重要性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもたちの昨今</li><li>○ 子どもたちの遊びに必要な3つの「間」</li></ul> <p>V これから</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 遊びを地域で考える</li><li>○ 子どもたちの遊びと運動を確保する</li><li>○ プレーリーダーの役割</li><li>○ 肥満対策から始まる地域創生</li><li>○ 子どもと向き合う</li></ul>	



3 休 憩 (11:45~12:45)

4 実技講習 (12:45~13:45)

(1) 講師紹介 南会津教育事務所次長兼総務社会教育課長 佐々木 孝一

(2) 実 技

テ ー マ 「レクリエーションを通じた人間関係づくり」

講 師 ボーイスカウト日本連盟 リーダートレーナー 和合 治幸 氏

(3) 実技内容

I はじめに

II 実技

- ニックネームで呼ばれたい
- 王様の命のままに
- ジャンケン各種
- 数集まり
- となりのとなり
- グッド&ニュー
- 行商人
- 名探偵
- マシュマロタワー

III おわりに

- レクリエーションゲームを通じ人間関係づくり
- ゲームを実施するにあたって



6 閉 会 (14:00)

## 5 感 想

<講演会>

- 安全を重視するあまり、ステージの上にも上がらせていなかったのですが、これから指導員同士で話し合い、改善していけたらと思います。
- 私たちもプレーリーダーであるということを頭に置き、子どもたちと接していきたい。
- 小児における肥満の重要性を教えていただき、大変勉強になりました。また、子どもたちにとっての10年間の大切さ、規則正しい生活習慣の大切さなど理解することができました。
- 安全性や隣近所に迷惑がかからないようにということを第一に考えていました。もう少し「子どももの楽しく遊べる場所」として考えたいと思いました。
- 子ども対指導員ではなく、子ども対子どもで楽しく遊べるようになるといいなと思いました。
- 体を動かすことの大切さがわかりました。子どもたちをいっぱい遊ばせたいと思います。

<実技講習>

- 実際に子ども教室で行えるものばかりを紹介してくださったのでとてもためになりました。
- つい夢中になってしまうほど楽しかった。こういった活動を子ども教室で実践してみたい。
- すぐに使えるようなものがあつた。今後の参考にしたいと思います。
- 実技はとても楽しく、あつという間でした。子どもたちも楽しませてあげたいと思います。
- 子ども教室での活動や遊びがマンネリ化してきていることもあつたので、新しいゲームを教えてくださいましてとても良かったです。
- 楽しい研修で、子ども教室に役立てたいと思います。指導員の笑顔が大切なこと、感じさせられました。

<全体を通して>

- 子どもたちに運動、実技演習などを取り入れたいと思いました。またこういう機会(研修会)があったら是非参加してみたいです。
- 今後少しでもプレーリーダーとしての役目を担っていきたいと思うし、今後も子どもたちのために思って接していきたいと感じました。これからの子どもたちの成長を見るのが楽しみです。
- 菊池先生も和合先生もすばらしい方で、本当に勉強になりました。
- 今回の研修会はとてもためになり、参考になりました。参加してよかったです。

## 6 成果・課題

<成 果>

- 郡内からたくさんの方が参加してくださった。チラシを配っただけではなく、さまざまな場面で声をかけてきたことの成果であろう。教育委員会の方が協力してくださったのも大きい。今回の研修で学んだことをそれぞれの教室で生かしていただければ幸いである。
- 菊池信太郎先生の講演は、参加者の方々の心に強く訴えるものであった。福島の子どもの現状を分析され、そこから考えられる「生活習慣の重要性」「肥満対策」「遊びの重要性」を小児科医ならではの目線で語ってくださった。非常に勉強になったし、これから子どもたちのためにどうしていくべきなのかを改めて考えるよい機会となった。
- 和合治幸先生の実技講習は、マンネリ化していた子ども教室の活動に刺激を与えるものばかりだった。しかも即実践できるものばかりで、昨年度の要望にあった「教室(狭いスペース)でもできるレクリエーションの案があれば」に応える実技講習とすることができた。参加者が生き生きと活動されていたのも非常に印象的であった。

<課 題>

- 計画の段階で、時間設定に少々無理があった。昼食の時間をもう少し余裕を持って設定する必要がある。
- できるだけ多くの参加者を募るために、各子ども教室の実施曜日を確認した上で計画を立てるというのも必要であった。